

## まとめサイトで発覚したモラルと質の問題

◆記事の誤りに対して苦情が相次ぎ、事件にまで発展し、サイトの運営を中止にネットには情報があふれている。その情報をテーマごとにまとめた記事に不適切なものがあるとして運営中止などの対応をとるサイトが増えている。

ことの発端は2016年11月ごろからDeNAが運営する健康情報を扱うまとめサイトに記事の誤りなどの苦情が相次ぎ、社会問題化して、最終的に同社が運営するまとめサイトのすべてを11月29日から休止した事件にある。同社がサイト内の記事を調べたところ、明らかに誤りと分かる情報のほか、ある医師の文章に誤った情報を書き加えた例があった。この措置に対して、LINEやサイバーエージェント、リクルートなど類似サイトを運営する他の大手業者も対策を取り始めた。

### まとめサイトを運営する大手業者の不適切な記事への対応

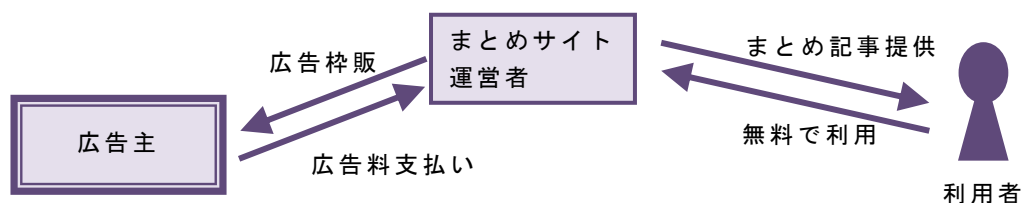
| 業者名        | 対応の内容   |
|------------|---|
| LINE       | 16年12月5日に新方針を発表。まとめ作成者の経歴、背景、経験などを審査／承認し、身元確認を可能にすることで、「まとめ」情報の信頼性を判断しやすくする。1次情報提供者からあらかじめ著作物と作者情報をセットで預かり、その著作物をどのように扱うか提供者自身が設定できる仕組みを今後実現する。 |
| リクルート      | まとめサイト「ギャザリー」掲載の記事について利用規約に準拠しているか精査するため16年12月1日以降1.6万件の記事を非公開にした。  |
| サイバーエージェント | まとめサイト「Spotlight」の医療関連の記事について、編集部による十分な確認と検証が行われていない記事を一時的に非公開にした。編集部が内容の確認と検証を行ったものは順次再公開する予定。   |
| KDDI       | 16年12月9日に子会社Supershipが運営する「nanapi」の中の美容関連記事専門サイト「LiRu」の一部の記事を非公開としたうえで内容を精査すると発表。著者表示が不適切な記事を掲載していた記事が18件ありLiRuの運営を終了すると発表。                     |

資料出所：各種報道資料を基に旭リサーチセンター作成

### ◆広告料収入の増加に目を奪われてモラルと品質を失う

今回の事件で発覚したのはまとめサイトのモラルと情報の質の問題である。DeNAは他サイトの記事の表現を変え、転載するよう指示したマニュアルを作り、外部ライターに記事を執筆させていた。また、記事の真偽を確かめず、使用する写真や図の著作権保護の意識も薄いまま記事を量産した疑いもある。

まとめサイトの多くは、まとめ記事の中に設けた広告枠を販売して収入を得ており、利用者はまとめ記事を無料で利用している。そのため運営者は記事を可能な限り安いコストで調達し、検索サイトの検索結果で記事が上位にくる工夫にコストをかけることに躍起になる。記事が検索結果の上位にできれば閲覧数が増加し、サイトから得る広告料収入も増加するからだ。しかし、こうしたやり方を続けると今回のような問題を起こすようになる。また、地道に調べて真偽を確認したうえで書かれた記事が少なくなり、根拠のない、誤情報による被害や事故が起こる恐れも出てきて信用が失われ、ゆくゆくはビジネスとして成り立たなくなる。



#### まとめサイトの主要収入は広告主からの広告料

#### ◆撤退する事業者が出てくる中で、記事の質確保は新しい事業機会でもある

現在、多くのまとめサイトは記事の提供を中断し、内容を精査して、不適切な記事の提供を取りやめ、サイトを再開することを課題としている。その精査の結果から、早々とサイトの運営を取りやめ、課題の達成をあきらめたものもある。

今後、まとめサイト運営者には、新しい記事の質を保証する方法の確立も課題となる。この課題に対する分かりやすい対応が外部有識者による記事のチェックである。たとえば医療情報のまとめ記事を医師がチェックすれば利用者の信頼も高まり、閲覧数が増え、広告料収入が増加するだろう。ただ、この方法では記事を掲載するまでのコストがこれまでよりも増加するので、サイトの運営に必要な収入を得ることができずサービスの提供を取りやめる運営者も出てくるだろう。逆に、こうした状況を新しい事業機会として捉えた事業者が今後出てくる可能性もある。たとえば、ウィルゲートは専門家が記事をチェックし、根拠を示して修正し納品するサービスを始めた。このようなサービスが今後増えるだろう。

まとめサイト運営方法の今後のもう一つの可能性は課金モデルへの転換である。たとえば、専門家のチェックなどに要するコストを利用者から徴収するモデルに転換できれば、利用者が現在の数十分の一で済む可能性がある。 【藤井和則】